

日本商工会議所発行「会議所ニュース」に掲載されました

市、協会けんぽと協定締結

亀山

健康経営普及促進目指す

亀山商工会議所（三重県）と市、全国健康保険協会（協会けんぽ）三重支部は2月21日、「亀山市健康経営普及

促進に関する協定」を締結した。協定は、市内事業所の従業員の健康推進を図り、「健康経営」を普及させるためのもの。締結式で同所の岩佐憲治会頭は、「従業員の健康意識を高めることは、生産性の向上やワークライフ



が従業員の健康管理をしやすいとする。協会けんぽは健康経営に関するセミナーなどに講師を派遣。同所は会員事業所が積極的に従業員の健康増進を行うよう呼び掛け、まちの発展につながるべく連携して取り組んでいく。

左から岩佐会頭、櫻井市長、内藤支部長
今後、市は独自アプリの活用により、事業所にもつながる。市内の事業所が健康経営に取り組みでもらえるよう啓発活動などを行っていく」とあいさつした。